

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A) (11)特許出願公開番号

特開2003 - 223990

(P2003 - 223990A)

(43)公開日 平成15年8月8日(2003.8.8)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコード [*] (参考)
H 0 5 B 33/10		H 0 5 B 33/10	3 K 0 0 7
G 0 9 F 9/00	338	G 0 9 F 9/00	5 C 0 9 4
	348		5 G 4 3 5
9/30	365	9/30	365 Z
H 0 5 B 33/06		H 0 5 B 33/06	
審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 7 数) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願2002 - 21351(P2002 - 21351)

(22)出願日 平成14年1月30日(2002.1.30)

(71)出願人 000110217

トッパン・フォームズ株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72)発明者 遠藤 康博

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地 ト

ッパン・フォームズ株式会社内

(74)代理人 100097560

弁理士 ▲高▼橋 寛

F タ-ム (参考) 3K007 AB18 BB07 CC05 DB03 FA02

5C094 AA43 AA44 BA27 DA06 DB02

EB02 FA02 FB01 FB16 GB01

5G435 AA17 BB05 EE42 KK05

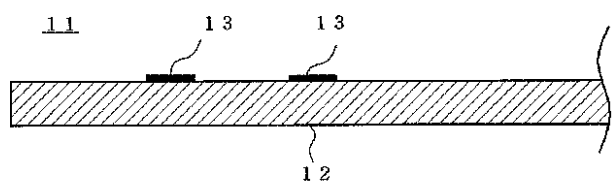
(54)【発明の名称】 エレクトロルミネッセント素子表示装置の作製方法およびエレクトロルミネッセント素子表示モジュール

(57)【要約】

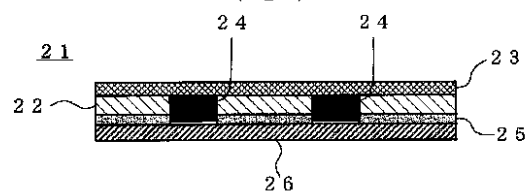
【課題】本発明は、所定の情報を表示させるシート状の E L 素子表示装置の作製方法、E L 素子表示モジュールに関し、少なくとも電気的接続工程における組み立て効率の向上を図り、低コスト化を図ることを目的とする。

【解決手段】表示用基材 2 2 に E L 素子形成部 2 3 および接続端子 2 4 が形成され、これら何れかに粘着剤 2 5 が塗布される E L 素子表示モジュール 2 1 であり、当該 E L 素子表示モジュール 2 1 を、E L 素子表示装置を構成する装置用基材 1 2 に形成された所定パターン 1 3 と電気的接続させて搭載させる場合に、当該装置用基材 1 2 上の対応パターン 1 3 と E L 素子表示モジュール 2 1 の接続端子 2 4 とを当接させて当該装置用基材 1 2 上に粘着剤 2 5 により接着させる構成とする。

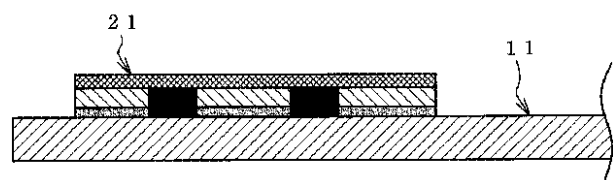
(A)



(B)



(C)



【特許請求の範囲】

【請求項 1】所定のパターンが形成されたシート状の装置用基材上に、少なくともエレクトロルミネッセント素子で形成されたエレクトロルミネッセント素子表示モジュールを電氣的に接続して搭載させるエレクトロルミネッセント素子表示装置の作製方法であって、前記エレクトロルミネッセント素子表示モジュールは表示用基材に接続端子で外部接続可能にエレクトロルミネッセント素子形成部が形成され、当該接続端子側に当該接続端子を外部接続可能に粘着剤が塗布されているもので、前記装置用基材上のパターンのうち、対応するパターンと対峙させ、当該接続端子部分を対応パターンに当接させて当該装置用基材上に上記粘着剤により接着させることで電氣的接続を行わせる工程を含むことを特徴とするエレクトロルミネッセント素子表示装置の作製方法。

【請求項 2】請求項 1 記載のエレクトロルミネッセント素子表示装置の作製方法に使用されるエレクトロルミネッセント素子表示モジュールであって、前記表示用基材に接続端子を外部接続可能にエレクトロルミネッセント素子形成部が形成され、当該接続端子側に当該接続端子を外部接続可能に粘着剤が塗布されることを特徴とするエレクトロルミネッセント素子表示モジュール。

【請求項 3】請求項 2 記載のエレクトロルミネッセント素子表示モジュールであって、前記接続端子は、前記表示用基材における前記エレクトロルミネッセント素子形成部が形成された反対面に形成され、前記粘着剤が当該接続端子側に当該接続端子を外部接続可能に塗布されることを特徴とするエレクトロルミネッセント素子表示モジュール。

【請求項 4】請求項 2 記載のエレクトロルミネッセント素子表示モジュールであって、前記表示用基材は透明部材または半透明部材で形成されるもので、前記接続端子が当該表示用基材上の前記エレクトロルミネッセント素子形成部側に形成されると共に、前記粘着剤が当該接続端子側に当該接続端子を外部接続可能に塗布されることを特徴とするエレクトロルミネッセント素子表示モジュール。

【請求項 5】請求項 2 ～ 4 の少なくとも何れかに記載のエレクトロルミネッセント素子表示モジュールであって、表出される前記接続端子上に導電性粘着剤が塗布されていることを特徴とするエレクトロルミネッセント素子表示モジュール。

【請求項 6】請求項 2 ～ 5 の少なくとも何れかに記載のエレクトロルミネッセント素子表示モジュールであって、前記粘着剤面上および前記導電性粘着剤上に所定の剥離材が設けられ、または当該粘着剤面と反対面に所定の剥離剤が設けられることを特徴とするエレクトロルミネッセント素子表示モジュール。

*【請求項 7】シート状のエレクトロルミネッセント素子表示装置における装置用基材上の所定部分に粘着されるエレクトロルミネッセント素子表示モジュールであって、

シート状の表示用基材と、
前記表示用基材上にエレクトロルミネッセント素子で形成されたエレクトロルミネッセント素子形成部と、
前記エレクトロルミネッセント素子形成部上、または、前記表示用基材の当該エレクトロルミネッセント素子形成部の反対面上に塗布される粘着剤と、
前記粘着剤の塗布部分以外の部分に形成され、少なくとも表示のための外部駆動手段と電氣的に接続させるための接続端子と、
を有することを特徴とするエレクトロルミネッセント素子表示モジュール。

【請求項 8】請求項 7 記載のエレクトロルミネッセント素子表示モジュールであって、前記粘着剤面上に所定の剥離材が設けられ、または当該粘着剤面と反対面に所定の剥離剤が設けられることを特徴とするエレクトロルミネッセント素子表示モジュール。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、所定の情報を表示させるシート状のエレクトロルミネッセント（ＥＬ）素子表示装置の作製方法およびＥＬ素子表示モジュールに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、所定の情報を表示させる装置は種々あり、目的用途、コスト等に応じて使用されている。このような情報表示装置は、薄型化、軽量化、低コスト化が望まれており、製品化されつつ傾向にある。特に、ＥＬ素子で形成される表示装置は薄型、軽量であり、また大きさを自在に形成できることから注目を集めている。このようなＥＬ素子表示装置においては、その製造工程において組み立て効率の向上が望まれる。

【0003】従来、ＥＬ素子表示装置は、一般にはＥＬ素子表示部と表示駆動部等より構成され、ＥＬ素子表示部および表示駆動部等には電氣的な接続を行うための接続端子がそれぞれはんだ付けにより設けられる形態のものである。すなわち、所定のパターンが形成された基板上にＥＬ素子表示部および表示駆動部等を配置し、これらと基板上の対応するパターンとをはんだ付けにより電氣的に接続するのが一般的である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来のＥＬ素子表示装置の製造工程では、少なくとも構成する各要素と基板上のパターンとをはんだ付けにより電氣的接続を行わなければならない。このことは、その分設備コスト、材料コストを必要とすると共に、ＥＬ素子表示装置作製の製造工程のうち、組み立て工程における

電氣的接続部分で作業効率を図ることができないという問題がある。

【0005】そこで、本発明は上記課題に鑑みなされたもので、少なくとも電氣的接続工程における組み立て効率の向上を図り、低コスト化を図るエレクトロルミネッセント素子表示装置の作製方法、エレクトロルミネッセント素子表示モジュールを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、請求項1の発明では、所定のパターンが形成されたシート状の装置用基材上に、少なくともエレクトロルミネッセント素子で形成されたエレクトロルミネッセント素子表示モジュールを電氣的に接続して搭載させるエレクトロルミネッセント素子表示装置の作製方法であって、前記エレクトロルミネッセント素子表示モジュールは表示用基材に接続端子で外部接続可能にエレクトロルミネッセント素子形成部が形成され、当該接続端子側に当該接続端子を外部接続可能に粘着剤が塗布されているもので、前記装置用基材上のパターンのうち、対応するパターンと対峙させ、当該接続端子部分に対応パターンに当接させて当該装置用基材上に上記粘着剤により接着させることで電氣的接続を行わせる工程を含む構成とする。

【0007】請求項2～6の発明では、「請求項1記載のエレクトロルミネッセント素子表示装置の作製方法に使用されるエレクトロルミネッセント素子表示モジュールであって、前記表示用基材に接続端子を外部接続可能にエレクトロルミネッセント素子形成部が形成され、当該接続端子側に当該接続端子を外部接続可能に粘着剤が塗布される」構成とし、「前記接続端子は、前記表示用基材における前記エレクトロルミネッセント素子形成部が形成された反対面に形成され、前記粘着剤が当該接続端子側に当該接続端子を外部接続可能に塗布される」構成であり、「前記表示用基材は透明部材または半透明部材で形成されるもので、前記接続端子が当該表示用基材上の前記エレクトロルミネッセント素子形成部側に形成されると共に、前記粘着剤が当該接続端子側に当該接続端子を外部接続可能に塗布される」構成であり、「表出される前記接続端子上に導電性粘着剤が塗布されている」構成であり、「前記粘着剤面上および前記導電性粘着剤上に所定の剥離材が設けられ、または当該粘着剤面と反対面に所定の剥離剤が設けられる」構成である。

【0008】請求項7、8の発明では、「シート状のエレクトロルミネッセント素子表示装置における装置用基材上の所定部分に粘着されるエレクトロルミネッセント素子表示モジュールであって、シート状の表示用基材と、前記表示用基材上にエレクトロルミネッセント素子で形成されたエレクトロルミネッセント素子形成部と、前記エレクトロルミネッセント素子形成部上、または、前記表示用基材の当該エレクトロルミネッセント素子形

成部の反対面上に塗布される粘着剤と、前記粘着剤の塗布部分以外の部分に形成され、少なくとも表示のための外部駆動手段と電氣的に接続させるための接続端子と、を有する」構成とし、「前記粘着剤面上に所定の剥離材が設けられ、または当該粘着剤面と反対面に所定の剥離剤が設けられる」構成である。

【0009】このように、表示用基材にエレクトロルミネッセント（EL）素子形成部および接続端子が形成され、これら何れかに粘着剤が塗布されるEL素子表示モジュールであり、当該EL素子表示モジュールを、EL素子表示装置を構成する装置用基材に形成された所定パターンと電氣的接続させて搭載させる場合に、当該装置用基材上の対応パターンとEL素子表示モジュールの接続端子部分とを当接させて当該装置用基材上に粘着剤により接着させる。すなわち、EL素子表示モジュールに当該接続端子を外部接続可能に粘着剤を塗布させていることから、当該EL素子表示モジュールを装置用基材上に貼着させることで電氣的接続が可能となり、少なくとも電氣的接続工程における組み立て効率の向上を図り、低コスト化を図ることが可能となるものである。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好ましい実施形態を図により説明する。図1に、本発明のEL素子表示装置の作製方法に係る第1実施形態の構成図を示す。図1（A）は、配線パターンモジュール11を示したもので、装置用基材12上に所定の配線パターン13が形成されたものである。この装置用基材12は、紙（例えば上質紙）、樹脂フィルム、布、木材（またはその表皮）や軟らかい金属などの薄材等のフレキシブルなシート状のもので、適宜、その表面上に印字または印刷可能にコーティングされたものでもよい。そして、上記配線パターン13は、銅箔等をエッチングにより所定形状に形成され、または導電性インキで印刷等により所定形状に形成される。

【0011】また、図1（B）は、EL素子表示モジュール21を示したもので、表示用基材22の一方面にEL素子形成部23が形成され、他方面に当該EL素子形成部23における発光のための部位と導通される接続端子24が外部接続可能に表出されて形成される。この場合、表示用基材22には当該接続端子24部分が表出されるように穿孔される。この表出される接続端子24側には粘着剤25が当該接続端子24部分を表出させるように塗布される。そして、粘着剤25面上には剥離材26が設けられたものである。

【0012】上記表示用基材22は、上記装置用基材12と同様に、例えば紙（例えば上質紙）、樹脂フィルム、布、木材（またはその表皮）や軟らかい金属などの薄材等のフレキシブルなシート状のもので、適宜、その表面上に印字または印刷可能にコーティングされる。また、上記EL素子形成部23で適用されるEL素子に

は、従前より知られているように無機ＥＬ素子と、有機ＥＬ素子とがあり、発光性や製造性等により有機ＥＬ素子を使用することが好ましい。このような有機ＥＬ素子を用いるＥＬ素子形成部２３は、従前より知られている工程により上記表示用基材２２上に形成されるもので、ここでは説明を省略する。

【００１３】上記接続端子２４は、外部の駆動制御手段と接続させるためのもので、例えば導電性金属片を導電性粘着剤で接着させて形成させることができ、または熱硬化性の導電性粘着剤や熱硬化性の導電性インキを塗布し、加熱硬化させて形成させることができる。なお、表示用基材２２に対し、ＥＬ素子形成部２３および接続端子２４の何れを先に形成させるかは問わない。上記粘着剤２５は、例えば、後に剥がすことを前提としなければ天然ゴムラテックスや合成ゴム等の非剥離性の接着剤組成物が使用され、また剥離自在に接着させる場合には上記非剥離性の接着剤組成物にシリカ、デンプン、顔料等の微粒状充填材を充填した感圧性、感熱性、再湿性の接着剤組成物が使用される。なお、マスキングを行って粘着剤２６を塗布することで上記接続端子２４を表出させることができる。

【００１４】上記剥離材２６は、剥離紙に剥離剤が塗布されたもので、例えば通常使用される剥離紙で 사용되는紙ベースまたはフィルムベースの基材に一般的に使用されているものとしてシリコン剤等のような高分子物質の剥離剤が塗布されたものが使用される。なお、図１（Ｂ）では、剥離材２６を粘着剤２５側に設けた場合を示したが、例えば当該ＥＬ素子モジュール２１を連続させたシートとしておき装置作製時に単片とする場合における保管時に、ロール状で保管させる場合には当該粘着剤２５の反対面（ＥＬ素子形成部２３面上）に剥離材２６を形成してもよく、この場合には透明な剥離剤のみを塗布すれば足りる。このことは以下に示す他の実施形態においても同様である。

【００１５】そして、図１（Ｃ）に示すように、図１（Ｂ）に示す剥離材２６が剥離されたＥＬ素子表示モジュール２１の接続端子２４を、図１（Ａ）に示す配線パターンモジュール１１における装置用基材１２上のパターンのうち、対応するパターン１３と対峙させ、当該接続端子２４を対応パターン１３に当接させて当該装置用基材１２上に上記粘着剤２５により接着させることで電気的接続を行わせたものである。

【００１６】そこで、図２に、図１の作製方法が適用されるＥＬ素子情報表示装置作製の説明図を示す。図２（Ａ）において、装置用基材３１（１２）に所定形状の配線パターン３２（１３）が形成されたもので、これが図１（Ａ）に示す配線パターンモジュール１１となる。

【００１７】また、図２（Ｂ）は上記配線パターンモジュール１１に搭載される各モジュールを示したもので、ここでは、画像表示部としての上記図１（Ｂ）に示す

ＥＬ素子表示モジュール２１、非接触通信部４２、リライト表示部４３および電源部４４としている。そして、これら各モジュールの裏面には接続端子を外部接続可能に粘着剤が塗布されている。ここで、上記非接触通信部４２は、アンテナ（電磁誘導型または静電誘導型）、半導体ＩＣモジュールおよびＥＬ素子表示モジュール２１を駆動する駆動制御モジュールを備えるもので、外部のリードライタからの表示情報や制御信号を非接触で受信して当該ＥＬ素子モジュール２１で画像等を表示させる。

【００１８】上記リライト表示部４３は、例えば感熱材がドット上に分布されており、外部からのドット単位での加熱によって、文字やイメージを表示させる表示手段である。また、電源４４は、ＥＬ素子表示モジュール２１および非接触通信部４２を少なくとも駆動させるための電力を供給するもので、例えばバッテリー（乾電池、充電式乾電池、ソーラ電池等）、誘起電力発生コイル等があり、交流、直流を問わない。

【００１９】そして、図２（Ｃ）に示すように、配線パターンモジュール１１上の配線パターンのうち、それぞれ対応するパターンと対応のＥＬ素子表示モジュール２１、非接触通信部４２、リライト表示部４３および電源部４４を対峙させ、それぞれの接続端子を対応パターンに当接させて当該装置用基材３１（１２）上に上記粘着剤により接着させることで電気的接続を行わせることにより、シート状情報表示装置４１が作製されるものである。

【００２０】このように、ＥＬ素子表示モジュール２１に、接続端子２４を外部接続可能に粘着剤２５を塗布させていることから、当該ＥＬ素子表示モジュール２１を装置用基材１２上に貼着させることで電気的接続を行うことができ、少なくとも電気的接続工程における組み立て効率を向上させることができると共に、低コスト化を図ることができるものである。

【００２１】次に、図３に、本発明に係るＥＬ素子表示モジュールの第２実施形態の構成図を示す。図３（Ａ）はＥＬ素子表示モジュール２１を示したもので、表示用基材２２を透明または半透明な部材（上記部材のうち、例えば紙、樹脂フィルム等）として、当該表示用基材２２の一方面にＥＬ素子形成部２３を形成させ、当該ＥＬ素子形成部２３上に接続端子２４を形成させたものである。そして、接続端子２４側に、当該接続端子２４を外部接続可能に表出させて粘着剤２６を塗布し、当該粘着剤２６上に上記剥離材２６を設けたものである。

【００２２】そこで、図３（Ｂ）に示すように、図３（Ａ）に示すＥＬ素子表示モジュール２１における剥離材２６を剥離して、接続端子２４を、配線パターンモジュール１１における装置用基材１２上のパターンのうち、対応するパターン１３と対峙させ、当該接続端子２４を対応パターン１３に当接させて当該装置用基材１２上に上記粘着剤２５により接着させることで電気的接続を行

わせたものである。

【0023】すなわち、接続端子24をEL素子形成部23上に形成しても表示用基材22が透明または半透明であることから画像等の表示が可能であり、このようなEL素子表示モジュール21を使用しても、上記同様にEL素子表示モジュール21を装置用基材12上に貼着させることで電氣的接続を行うことができ、少なくとも電氣的接続工程における組み立て効率を向上させることができると共に、低コスト化を図ることができるものである。

【0024】次に、図4に、本発明に係るEL素子表示モジュールの第3実施形態の構成図を示す。図4(A)は図1(B)に対応させたEL素子表示モジュール21を示したもので、形成された接続端子24上に導電性粘着剤51を設け、当該粘着剤26および当該導電性粘着剤51上に剥離材26を設けたものである。導電性粘着剤51としては、一般に接着性樹脂中に導電性粒子を分散させた異方導電性粘着剤があり、熱可塑タイプのものと熱硬化タイプのものがあるが、何れのタイプのものでもよい。例えば熱可塑タイプのものとしてはスチレン-

ブタジエン-スチレン等スチレン系共重合体が主として用いられ、熱硬化タイプのものとしてはエポキシ樹脂系のものが主として用いられる。なお、この導電性粘着剤51の形成は図3においても適用できる。

【0025】そこで、図4(B)に示すように、図4(A)に示すEL素子表示モジュール21における剥離材26を剥離して、接続端24を、配線パターンモジュール11における装置用基材12上のパターンのうち、対応するパターン13と対峙させ、当該接続端子24を対応パターン13に導電性粘着剤51を介在させて接着

させると共に、当該装置用基材12上に上記粘着剤25により接着させることで電氣的接続を行わせたものである。

【0026】このように、導電性粘着剤51を用いることで接続端子24と対応パターン13とは確実に電氣的接続を行わせることができると共に、このようなEL素子表示モジュール21を使用しても、上記同様にEL素子表示モジュール21を装置用基材12上に貼着させることで電氣的接続を行うことができ、少なくとも電氣的接続工程における組み立て効率を向上させることができ

ると共に、低コスト化を図ることができるものである。

【0027】次に、図5に、本発明に係るEL素子表示モジュールの第4実施形態の構成図を示す。図5(A)は装置用基材61を示したもので、上記同様の紙(例えば上質紙)、樹脂フィルム、布、木材(またはその表皮)や軟らかい金属などの薄材等のフレキシブルなシート状のもので、適宜、その表面上に印字または印刷可能にコーティングされる。そして、この装置用基材61の所定部分には固定情報62が印字または印刷により形成される。固定情報としては、例えばカレンダー、予定表、*

*ポスタ(広告)、価格表示広告、看板等で必要な種々の情報がある。

【0028】また、図5(B)は、EL素子表示モジュール21を示したもので、表示用基材22の一方面にEL素子形成部23が形成され、他方面に粘着剤25が形成されたものである。この場合、少なくとも表示のための外部駆動手段と電氣的に接続させるための接続端子21Aが、粘着剤25の塗布部分以外の部分に形成されるものであり、粘着剤25面上に剥離材26が設けられたものである。

【0029】そして、図5(C)に示すように、装置用基材61上であって、上記固定情報62の表示領域以外の部分に、上記EL素子表示モジュール21を上記剥離材26が剥離されて貼着させることによりシート状情報表示装置71を作製するものである。この場合、外部の駆動制御手段との接続を接続端子21Aによって行うものである。

【0030】このようなシート状情報表示装置71において、固定情報62と関連した静的または動的な画像情報をEL素子表示モジュール21で所定周期で適時表示させることで新鮮で注意喚起力の高い情報を表示させることができるものであり、単にEL素子表示モジュール21を固定情報62が表示されている装置用基材61上に貼着させることで簡易にシート状のEL素子表示装置を作製することができ、装置製造の工程における組み立て効率を向上させることができるものである。

【0031】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、表示用基材にEL素子形成部および接続端子が形成され、これら何れかに粘着剤が塗布されるEL素子表示モジュールであり、当該EL素子表示モジュールを、EL素子表示装置を構成する装置用基材に形成された所定パターンと電氣的接続させて搭載させる場合に、当該装置用基材上の対応パターンとEL素子表示モジュールの接続端子部分とを当接させて当該装置用基材上に粘着剤により接着させることにより、EL素子表示モジュールを装置用基材上に貼着させることで電氣的接続ができ、少なくとも電氣的接続工程における組み立て効率を向上させることができ、低コスト化を図ることができるものである。

【0032】また、表示用基材にEL素子形成部および接続端子が形成され、当該EL素子形成部面上またはその反対面上に粘着剤を塗布させる構成とすることにより、単にEL素子表示モジュールを所定の情報が表示されている装置用基材上に貼着させることで簡易にEL素子表示装置を作製することができ、装置製造の工程における組み立て効率を向上させることができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のEL素子表示装置の作製方法に係る第1実施形態の構成図である。

【図 2】図 1 の作製方法が適用される E L 素子情報表示装置作製の説明図である。

【図 3】本発明に係る E L 素子表示モジュールの第 2 実施形態の構成図である。

【図 4】本発明に係る E L 素子表示モジュールの第 3 実施形態の構成図である。

【図 5】本発明に係る E L 素子表示モジュールの第 4 実施形態の構成図である。

【符号の説明】

1 1

配線パターンモジュール

*10

*1 2 , 3 1 , 6 1

1 3 , 3 2

2 1

2 2

2 3

2 4

2 5

2 6

4 1 , 7 1

装置用基材

配線パターン

E L 素子表示モジュール

表示用基材

E L 素子表示形成部

接続端子

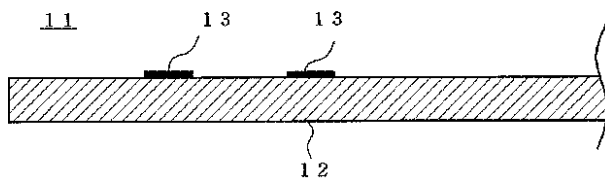
粘着剤

剥離材

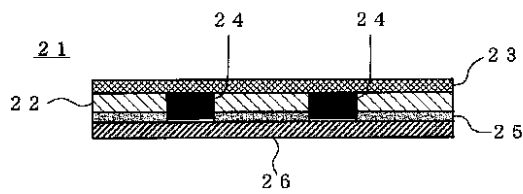
シート状情報表示装置

【図 1】

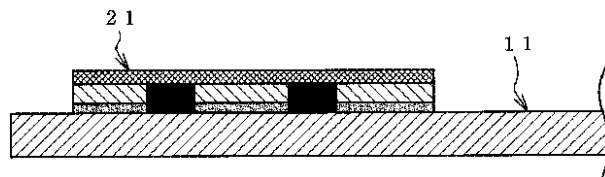
(A)



(B)

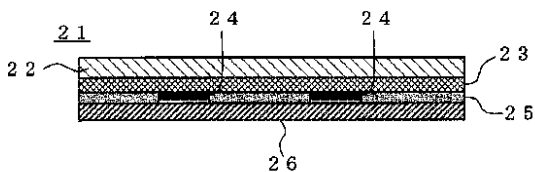


(C)

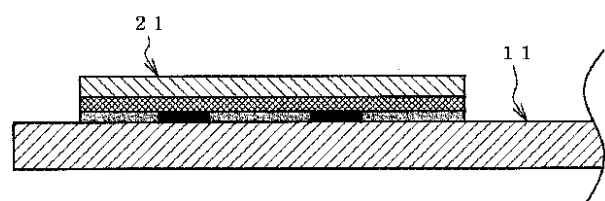


【図 3】

(A)

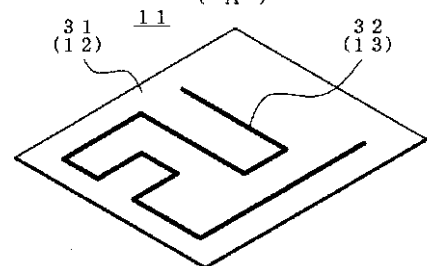


(B)

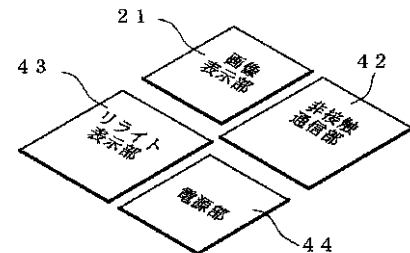


【図 2】

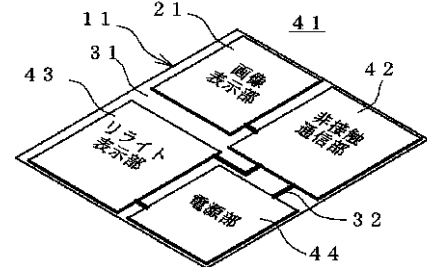
(A)



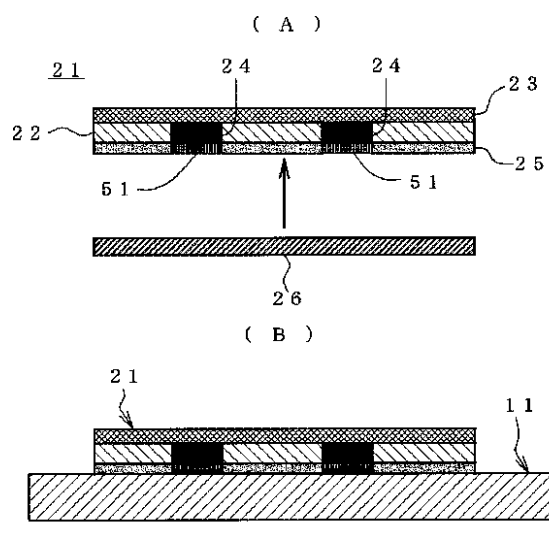
(B)



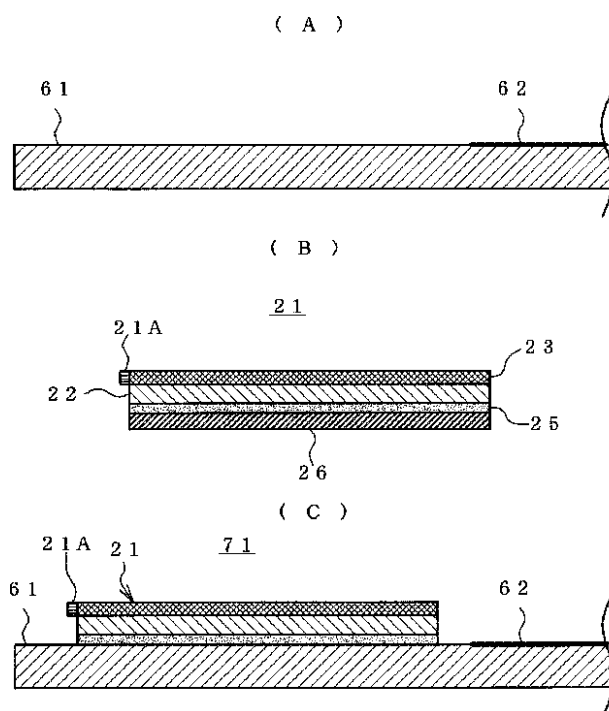
(C)



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
H 0 5 B 33/14

識別記号

F I
H 0 5 B 33/14

テ-マ-コ-ド' (参考)
A

专利名称(译)	制造电致发光元件显示装置的方法和电致发光元件显示模块		
公开(公告)号	JP2003223990A	公开(公告)日	2003-08-08
申请号	JP2002021351	申请日	2002-01-30
[标]申请(专利权)人(译)	凸版资讯股份有限公司		
申请(专利权)人(译)	凸版资讯有限公司		
[标]发明人	遠藤康博		
发明人	遠藤 康博		
IPC分类号	H05B33/10 G09F9/00 G09F9/30 H01L27/32 H01L51/50 H05B33/06 H05B33/14		
FI分类号	H05B33/10 G09F9/00.338 G09F9/00.348.A G09F9/30.365.Z H05B33/06 H05B33/14.A G09F9/30.365 H01L27/32		
F-TERM分类号	3K007/AB18 3K007/BB07 3K007/CC05 3K007/DB03 3K007/FA02 5C094/AA43 5C094/AA44 5C094/BA27 5C094/DA06 5C094/DB02 5C094/EB02 5C094/FA02 5C094/FB01 5C094/FB16 5C094/GB01 5G435/AA17 5G435/BB05 5G435/EE42 5G435/KK05 3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC45 3K107/DD38 3K107/DD39 3K107/DD47Z 3K107/EE57 3K107/GG06		
代理人(译)	▲高▼桥 寛		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：至少在与用于显示规定信息的片状EL元件显示装置的制备方法和EL元件显示模块相关的电连接过程中，旨在提高组装效率和降低成本。ŽSOLUTION：这是EL元件显示模块21，其中EL元件形成部分23和连接端子24形成在用于显示的基板22上，并且其中压敏粘合剂25被施加到这些中的任一个上，并且当EL元件时显示模块21与基板12上形成的规定图案13电连接，用于构成EL元件显示装置的器件，该模块构成为使基板12上的相应图案13用于器件和连接EL元件显示模块21的端子24与压敏粘合剂25邻接并粘附在基板12上。

